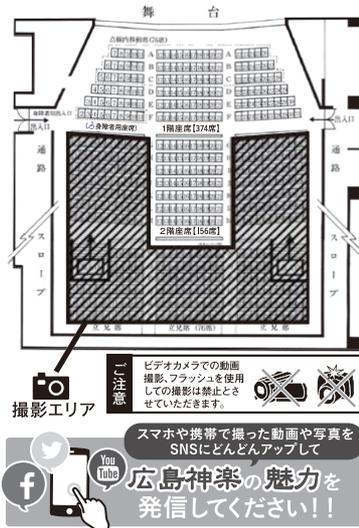


「広島神楽」定期公演へようこそ!

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
(2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
(3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
(4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

7月5日のタイムスケジュール

出演：梶矢神楽団 (安芸高田市)

19:00～開演

19:05～第一幕『塵倫』

(おおよそ 40 分)

～幕間 (休憩)～

20:00～第二幕『頼政』

(おおよそ 40 分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を实际に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。
本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

かじやかぐらだん

梶矢神楽団プロフィール ～安芸高田市高宮町～

当神楽団は安芸高田市高宮町川根にあり、大元神楽の流れを汲んでいます。神社の古文書には江戸時代中期、現在の島根県邑智郡邑南町の羽須美村阿須那の斎藤宮司と上田の三上宮司より神職神楽を伝授されたと記されています。

以来、戦時中も中断することなく、古典演目を伝承していることが認められ、昭和29年に広島県無形民俗文化財の指定を受けました。(指定演目「鐘撞」)

現在、新しい演目が人気を集めておりますが、団員一丸となって古典演目の伝承に精進してまいります。

第一幕『塵倫』(じんりん)

人皇第14代仲哀(ちゅうあい)天皇の御代、異国より日本征伐を企てて数万の軍勢が攻めてきました。その中に塵倫という身に翼があり、黒雲に乗って虚空を自由に飛び回る神通自在の大將軍がおり、国々村里を荒らし、多くの人民を滅ぼしていました。しかし、我が国にはこの大悪鬼にかなう者がいませんでした。そこで仲哀天皇自ら不思議な霊力のある十善万乘(じゅうぜんばんじょう)の神変不測の弓矢を持って、神通力を持ち戦術にも長けた鬼を退治されたという物語です。

【出演】	大太鼓 … 上田 正幸	仲哀天皇 … 道庭 晃	塵 倫 … 行田 雅春
	小太鼓 … 徳物 一則	高麻呂 … 神田 光太郎	小 鬼 … 柴野 竜二
	手打鉦 … 道庭 純樹		小 鬼 … 田中 直也
	笛 … 古太刀 秋貴子		

第二幕『頼政』(よりまさ)

平安時代、毎夜丑の刻(午前二時)になると京都三条ヶ森の空に黒雲が立ち昇り、この世のものとは思えない動物が怪異なる声で鳴くのでした。時を同じくして帝の堀河天皇は、原因不明の魔物に取り付かれたように毎夜うめき悩まされていました。宮中に仕える女官・楓姫は、帝をお慰めしようと料理の名人・猪乃早太に極上のご馳走を作り、もてなすよう準備にかかりましたが、突然現れた化生によって食い荒らされてしまいました。いよいよ荒れ狂う化生退治の詔(みことり)を受けた弓の名人・源頼政は東三条ヶ森へ急ぎます。正体を現した化生は頭が猿、身は狸、手足は虎、尾は蛇なる容姿の怪物「鶴(ぬえ)」を退治する物語です。

(※) 詔=天皇の命令、またその命令を直接に伝える文書のこと

【出演】	大太鼓 … 長尾 良文	楓 姫 … 柴野 竜二
	小太鼓 … 上田 正幸	源 頼 政 … 大久保 俊佑
	手打鉦 … 道庭 純樹	猪乃早太 … 柴野 利成
	笛 … 神田 光太郎	鶴 … 行田 雅春

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。